



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 東祥

コード番号 8920 URL <http://www.to-sho.net/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 沓名 俊裕

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 桑添 直哉

四半期報告書提出予定日 平成25年11月5日 配当支払開始予定日

TEL 0566-79-3111  
平成25年12月11日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (個人向け、機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	7,361	12.8	1,740	12.6	1,683	15.7	915	7.4
25年3月期第2四半期	6,525	10.7	1,546	22.5	1,455	24.3	852	28.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	49.76	—
25年3月期第2四半期	48.45	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	31,429	11,471	36.5	623.81
25年3月期	28,874	10,686	37.0	581.09

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 11,471百万円 25年3月期 10,686百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
26年3月期	—	8.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,600	10.0	3,390	11.4	3,200	12.5	1,780	11.9	96.79

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	18,392,000 株	25年3月期	18,392,351 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	2,990 株	25年3月期	2,491 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	18,389,337 株	25年3月期2Q	17,590,351 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、添付資料の2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	2
4. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、円安等輸出環境の改善により輸出企業の生産活動は緩やかに改善してきており、また、平成25年9月には平成32年(2020年)に開催が予定されている夏季オリンピックの開催予定地が東京に決定したことにより、日本経済全体における回復基調が持続している状況であります。

こうした経済環境のもとで、当社主力事業であるスポーツクラブ事業において2店舗、ホテル事業において2店舗を新規開業いたしました。また来期以降の出店予定として「ホリデイスーツクラブ」3店舗、「A Bホテル」2店舗の開業を決定いたしました。

スポーツクラブ事業における既存47店舗の当第2四半期末の会員数は、前年同四半期末の会員数と比較して1.1%増増加しており、ホテル事業における既存5店舗における宿泊稼働率も前年同四半期に比べ上昇しております。

一方、A Bホテル2店舗の新規開発経費の計上、スポーツクラブ事業における広告宣伝強化、8店舗のサウナ室改修工事、9店舗の水垢等のクリーニングを実施した結果、売上原価及び販売費及び一般管理費は前年同四半期に比べ増加しております。また、スポーツクラブ等の建設資金としてシンジケートローンにより資金を調達した一部を期限前弁済したことにより、アレンジメントフィー等長期前払費用として計上していたものを一部償却したこと、テナントビルの一部改装に伴い固定資産を除却したことにより特別損失として85百万円計上しております。

この結果、当第2四半期累計期間における売上高は7,361百万円(前年同四半期比12.8%増)、営業利益1,740百万円(同12.6%増)、経常利益1,683百万円(同15.7%増)、四半期純利益915百万円(同7.4%増)となりました。

#### <スポーツクラブ事業>

スポーツクラブ事業の当第2四半期末における店舗数は、平成25年4月に開業した「ホリデイスーツクラブ盛岡」、同6月に開業した「ホリデイスーツクラブ市原五井」を含め55店舗となっております。

前事業年度に開業した6店舗及び当第2四半期累計期間に開業した2店舗による増収効果に加え、既存47店舗における会員数が増加したことにより、売上高は5,952百万円(同12.6%増)となりました。

#### <ホテル事業>

ホテル事業の当第2四半期末における店舗数は、平成25年6月に開業した「A Bホテル名古屋栄」、同7月に開業した「A Bホテル小牧」を含め7店舗となっております。

ホテル事業においては、インターネットを利用した宿泊者の獲得が好調であり、宿泊稼働率は新規に開業した2店舗を含め高稼働で推移しており、売上高は694百万円(同29.3%増)となりました。

#### <不動産事業>

不動産事業においては、展開する賃貸マンション「A・C i t y」等においては、高い入居率で推移しており、また、テナントビルの入居率も高くなったことから、売上高は714百万円(同1.8%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末における総資産は、前事業年度末に比べ2,554百万円増加の31,429百万円となりました。

主な要因は、現預金が1,539百万円、スポーツクラブにおいて、会費の集金代行為翌月となったことにより、営業未収入金が144百万円、ホリデイスーツクラブ2店舗及びA Bホテル2店舗の新規開業により有形固定資産が843百万円それぞれ増加したためであります。

負債総額は、前事業年度末に比べ1,769百万円増加の19,957百万円となりました。

主な要因は、ホリデイスーツクラブ及びA Bホテルの建設に伴う資金調達として長期借入金が387百万円、社債が1,354百万円増加したためであります。

純資産につきましては、前事業年度末に比べ785百万円増加の11,471百万円となりました。

主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期の業績予想につきましては、平成25年5月8日公表の業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,511,647	4,051,456
売掛金	34,205	53,024
営業未収入金	233,457	377,501
商品	1,260	2,381
貯蔵品	36,052	30,890
繰延税金資産	117,131	106,605
その他	204,849	201,519
貸倒引当金	△180	△180
流動資産合計	3,138,426	4,823,200
固定資産		
有形固定資産		
建物	25,220,032	26,396,448
減価償却累計額	△8,231,283	△8,720,166
建物(純額)	16,988,749	17,676,281
構築物	1,844,552	1,931,133
減価償却累計額	△1,181,782	△1,240,238
構築物(純額)	662,770	690,894
機械及び装置	616,576	713,993
減価償却累計額	△308,610	△340,822
機械及び装置(純額)	307,965	373,170
車両運搬具	35,062	35,062
減価償却累計額	△24,195	△26,364
車両運搬具(純額)	10,866	8,697
工具、器具及び備品	660,720	709,193
減価償却累計額	△527,757	△556,916
工具、器具及び備品(純額)	132,962	152,277
土地	3,272,370	3,410,503
リース資産	741,657	887,573
減価償却累計額	△182,220	△214,502
リース資産(純額)	559,436	673,070
建設仮勘定	1,165,278	958,536
有形固定資産合計	23,100,399	23,943,432
無形固定資産		
投資その他の資産	35,752	34,031
敷金及び保証金	1,495,685	1,559,294
繰延税金資産	446,815	465,591
その他	641,164	579,038
貸倒引当金	△17,388	△17,447
投資その他の資産合計	2,566,276	2,586,476
固定資産合計	25,702,429	26,563,941
繰延資産		
株式交付費	3,956	3,278
社債発行費	29,906	38,618
繰延資産合計	33,863	41,897
資産合計	28,874,719	31,429,039

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,780	9,975
短期借入金	610,000	634,000
1年内償還予定の社債	780,000	735,200
1年内返済予定の長期借入金	2,888,186	2,792,323
リース債務	48,357	52,724
未払法人税等	752,501	719,250
その他	1,638,982	1,646,864
流動負債合計	6,720,808	6,590,338
固定負債		
社債	1,260,000	2,614,800
長期借入金	7,501,756	7,889,340
リース債務	534,232	645,459
役員退職慰労引当金	836,760	862,500
資産除去債務	171,825	208,664
その他	1,163,161	1,146,555
固定負債合計	11,467,736	13,367,319
負債合計	18,188,545	19,957,658
純資産の部		
株主資本		
資本金	950,754	950,754
資本剰余金	814,104	814,104
利益剰余金	8,923,104	9,709,234
自己株式	△1,789	△2,711
株主資本合計	10,686,174	11,471,380
純資産合計	10,686,174	11,471,380
負債純資産合計	28,874,719	31,429,039

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	6,525,338	7,361,927
売上原価	4,379,181	4,920,585
売上総利益	2,146,156	2,441,342
販売費及び一般管理費		
役員報酬	138,465	143,850
給料	70,540	84,694
支払手数料	86,237	96,371
その他	304,663	375,561
販売費及び一般管理費合計	599,906	700,477
営業利益	1,546,249	1,740,865
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,356	2,851
受取手数料	58,809	70,674
雑収入	17,972	9,583
営業外収益合計	79,138	83,110
営業外費用		
支払利息	137,520	115,890
雑損失	32,644	24,836
営業外費用合計	170,165	140,726
経常利益	1,455,222	1,683,249
特別利益		
固定資産売却益	2,698	—
新株予約権戻入益	868	—
特別利益合計	3,567	—
特別損失		
固定資産除却損	4,224	15,589
減損損失	24,986	—
シンジケートローン手数料	—	69,806
特別損失合計	29,210	85,395
税引前四半期純利益	1,429,579	1,597,853
法人税、住民税及び事業税	604,740	690,992
法人税等調整額	△27,451	△8,249
法人税等合計	577,289	682,742
四半期純利益	852,290	915,110

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(開示の省略)

四半期キャッシュ・フロー計算書、セグメント情報、その他の注記事項、補足情報につきましては、第2四半期決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため記載を省略しております。